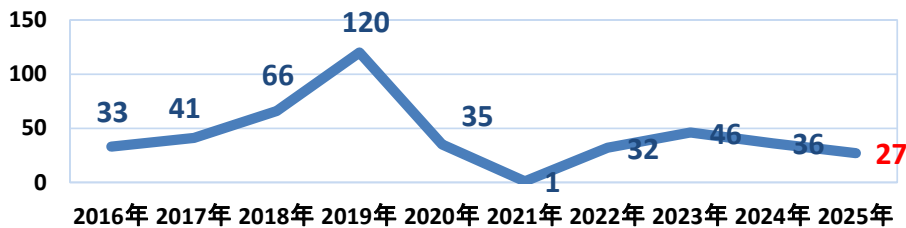


ギリシャ・邦人被害等ランキング2025

件数

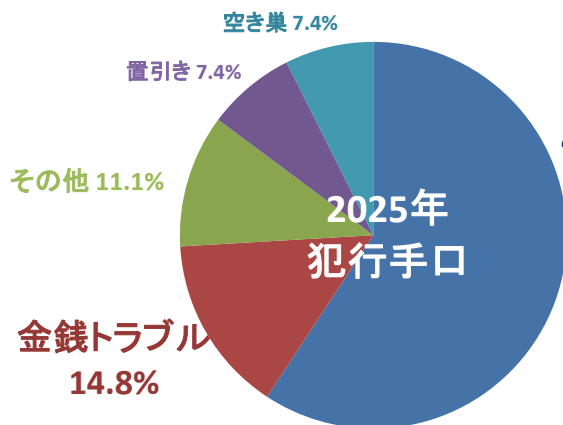
邦人被害件数の推移



被害件数

コロナ規制緩和後は増加傾向にありましたが、2023年以降は2年連続で減少し、2025年は過去10年で最少件数※となりました。

※ コロナ規制中の2021年を除く



盗

59.3%

犯行手口ランキング

・依然として、**盗**が多発！

バッグは身体の前に持ち、目を離さない！
ズボンのポケットに貴重品を入れない！



・街中で突然、困ったふりをした外国人にお金を貸してと頼まれる**金銭トラブル**が増加！

貸したお金は、絶対に返ってきません！
フレンドリーに話しかけられたり、電話番号を
教えられても、安易に信用しないでください。



被害場所ランキング

・第1位 シンタグマ広場とその周辺(アテネ)(33%)

土産物店や観光地に気を取られている間に盗まれます。また、声を掛ける等してわざと気を逸らせる手口も発生しています。



常に身の回り品に気を配り、急に声を掛けられたり、近くで注意を引く出来事があっても、まずは持ち物を点検するよう心掛けましょう。

・第2位 アクロポリス(アテネ)(19%)

アクロポリス遺跡内でも被害が発生しています。広大な世界遺産の前でも常に持ち物に注意しましょう。



本人も気づかぬうちに盗まれています。特に人混みの中では、身の回り品を意識しましょう。

・第3位 その他アテネ市内(22%)

レストランやその他施設内でも、目を離した隙に置き引きの被害に遭ってしまいます。貴重品は肌身離さず！



荷物を足下や椅子の背もたれに置いて盗まれるケースも。貴重品は身体から離さず、スマホはテーブルに放置しないようにしましょう。

・第4位 電车内・駅構内(アテネ市内)(7%)

プロのすり集団が狙っており、常に注意が必要です。リュックサックから財布、パスポート等を盗まれる被害が多発しています。



アテネの電车内・各駅構内でも被害が多発しています。人混みの中で持ち物をすられる被害が多く、中には鞆をナイフで切って中身を盗む手口もあります。

※邦人からの被害申告をもとにギリシャ大使館で手集計した参考数値による統計です。